

# 広報 あいづ ばんげ

10  
No.674  
2020

## 目次 -CONTENTS-

諏訪神社例大祭	2
令和元年度決算の内容	4
令和3年4月入所(園)「保育施設新入所(園)児」を募集します!	7
第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会	8
10月より路線バス若松線・喜多方線の運行内容が変わります	10
国勢調査の回答はお済みですか?	12
図書室だより・町史編さん調査余話(36)	13
まちの話題	14
お知らせインフォメーション	15
こどもと健康の広場	18
NHK連続テレビ小説エールのご当地巡回展が開催・ 会津坂下町まちなかガイドの会会員募集!	20

### 表紙:実りの秋(坂本のそば畑)

トンネルを抜けると、美しいそばの花畑が一面に広がっていました。花が終わると、10月にはそばの実の収穫が最盛期を迎えます。毎年11月に開催されていた「そば祭り」は中止となりますが、【会津坂下町そばの陣】(生そば配送や、町内でそばを取扱う飲食店・生そば販売店で利用できる【会津坂下町そばプレミアムチケット】の販売)が始まりますのでご期待ください!  
(詳細はチラシ・あいづばんげ情報がわら版または次号広報にてお知らせします。)



# 諏訪神社 例大祭

9月12日(土)、13日(日)に諏訪神社例大祭が催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年は神事のみを執り行うこととなりました。

12日の宵祭りでは御分霊を神輿にお遷しました。各町内自慢の太鼓台と仮装山車を披露できなかった今年は、新町

◀秋晴れの中、神輿が町内を巡行。諏訪神社は苦難の元(禍津神)を鎮め、厄災を乗り越える町民を見守ってきたことから鎮守の神様と称えられています。



祭り囃子保存会の皆さんが神社境内において祭り囃子を奉納し、賑やかながらも幻想的な宵祭りとなりました。

13日には神輿渡御が行われ、諏訪神社から台ノ宮公園までを練り歩き、五穀豊穣・商売繁盛・家運隆昌、そして新型コロナウイルス感染症の疫病退散を祈願しました。



# 私たちが仮装山車を愛する理由

秋の一大イベント「坂

下秋まつり仮装山車コンクール」。地域の大人たちは山車制作のために時間と体力を捧げ、子どもたちはコンクールでのパフォーマンスの練習に明け暮れる。厳しくも楽しい秋がやってくる、誰もが疑いませんでした。しかし、コロナ禍で迎えた今年、仮装山車コンクールや提灯行列、稚児行列などの一部行事が昭和30年の町政施行以来、初の中止となりました。感染症拡大防止の徹底のためではありますが、言い難い寂しさを感じているのではないでしょうか。坂下町民が情熱をそぐ仮装山車、今回はその愛される理由を紐解きます。

## 太鼓台の仮装行列から発展

諏訪神社の例大祭では作物の収穫を祝うため、大正10年頃より太鼓台を作って町内を練り歩くようになりました。その際、まつりを賑やかに執り行うため、仮装して太鼓台を牽引していました。これが時代とともに仮装山車に変化していきました。



▲昭和10年代の秋まつり仮装行列。一家で参加する娯楽としての側面も持ち合わせ、昭和30年代頃まで仮装行列として続けました。(諏訪町眞嶋善介さん提供)

## 仮装行列から山車まつりへ

仮装行列は昭和30年頃まで主流で、40年代には趣向を凝らした山車が出現します。さらに昭和43年には五穀豊穡のほか、商店街の繁栄のため、山車まつりを盛大に行うこととなりました。



▲柳町の山車「鹿鳴館舞踏会」。装飾も華やかで、仮装行列から発展したためか大人も山車に乗っています。昭和43年11月号の「町政だより」より

## みんなで楽しむ山車コンクールに発展

山車まつりが盛大になる中、昭和44年には山車コンクールが開催されるようになりました。これにより制作者・参加者・観客が広く楽しめる娯楽として、ますます発展していきました。



▲昭和44年の熱演賞 仲町の仮装山車「あぁ特別特攻隊」。現在も人気の煙幕を利用する手法は初期から行われていました。昭和44年11月号の「町政だより」より

## 山車制作者たちの飽くなき追求

「秋まつりを盛り上げたい」と、昭和56年より古坂下でねぶたを制作していた「三日会」が、青森で制作方法を学び持ち帰りました。これをきっかけに仮装山車コンクールでは、多くの町内で光の美しいねぶたの様式が取り入れられるようになり、さらに私たちが魅了するようになりました。



▲昨年度優秀賞の桜木町の山車。色彩が夜に映えます。

## 山車への愛は止まらない

その始まりから現在まで多くの人が情熱を持ち、取り組んできた仮装山車は、こうして私たちにあって愛着の深いものとなりました。

すべての町民が来年の仮装山車コンクール開催を信じ、各町内自慢の仮装山車が町内を練り歩くのを心待ちにしています。



▲昨年度最優秀賞を受賞した古坂下の山車。昔ながらの木工山車で、からくりや子どもたちのパフォーマンスも見どころです。